

平成29年度 事業報告書

第1 交通情勢

平成29年中における県内の交通事故発生状況は、次のとおりである。

- 発生件数 2, 231件 (前年対比 -142件 - 6.0%)
- 死者数 61人 (前年対比 -12人 -16.4%)
- 傷者数 2, 730人 (前年対比 -241人 - 8.1%)

発生件数、死者及び負傷者数とも減少し、特に、死者については大幅に減少して、昭和29年以降で最少となった。しかし、相変わらず、飲酒運転や歩行者保護義務違反等の悪質危険違反によるものが後を絶たないほか、高齢者の死者も全死者中の半数近く(45.9%)を占めるなど、県内の交通情勢は、相変わらず予断を許さない情勢下にある。

第2 協年会費の収納

盛岡運転免許センターにおける入会状況は、次のとおりである。

- 更新会員 10, 533人 (前年度対比-1, 887人 -15.2%)
- 新規会員 520人 (前年度対比- 4人 - 0.8%)
- 計 11, 053人 (前年度対比-1, 891人 -14.6%)

協年会費の総額は、25, 307, 500円(前年度対比-4, 590, 000円-15.4%)となり、入会者の住所地を管轄する地区交通安全協会に送付している。

第3 会員対策の推進

1 窓口等における推進状況

- (1) 盛岡運転免許センター窓口職員のスキルアップを図るべく、同センター窓口事務の実施状況について、盛岡、紫波及び北岩手地区交通安全協会による見学会を企画し、その後、意見交換会を開催して入会率の向上に努めた。
- (2) 盛岡運転免許センターでは、協会活動に対する理解が得られるように、活動の目的及び事例の紹介等を盛り込んだリーフレットを作成し、窓口で入会勧誘時に配布しているほか、シートベルト着用促進見舞金制度やチャイルドシートの貸出等の特典を説明し、希望者には免許証ケースの配付等も行って入会を勧誘した。
- (3) 協会活動を紹介したパネルを作成し、盛岡運転免許センター内に掲示した。
- (4) 協会活動を紹介したポスターを作成し、各地区交通安全協会を通じて各センター及び各警察署に掲示した。
- (5) 新規免許取得者の入会率向上のため、入会勧誘のポスターを作成し、各地区交通安全協会を通じて各指定自動車教習所に働きかけ、協会活動の紹介ポスターと合わせて掲示した。
- (6) 公共の場所における入会勧誘であることから、誤解を招くような行動・言動を行わないことや、あくまで任意加入であることを説明するよう配慮した。
- (7) 本部におけるチャイルドシート貸出業務時や各種活動中においても、交通安全協会の役割や具体的な活動内容等を説明の上、入会勧誘を行った。

2 体験型講習会等における推進状況

各種講習会やイベント会場等において、自転車シミュレーターや視野診断計等を積極的に活用した体験型交通安全教育を推進するにあたり、合わせて協会の役割や活動内容等についても広報しながら入会勧誘に努めた。

3 各種広報メディア利用による推進状況

マスコミを通じて広報を実施するとともに、当協会ホームページにおいても各地区協会の交通安全活動等を画像で紹介しているほか、若年者の入会向上対策として、携帯やスマートフォンサイトを設けて協会活動や入会特典等の広報を推進した。

第4 主な交通安全啓発活動

1 広報活動の推進

警察及び関係機関・団体との緊密な連携の下、岩手県交通安全対策協議会が主唱する平成29年度「正しい交通ルールを守る県民運動」実施要綱に基づき、次の活動を重点として推進した。

(1) ライトの早め点灯・反射材用品等の着用

夕暮れ時間帯・夜間の歩行者が関係する事故は、発見の遅れが要因の一つであり、特に9月以降、日没後の重大事故が多発することから、相互に気付き気付かせることを目的とした「3（サン）ライト運動」を推進した。

① ライトの早め点灯、原則上向きライト（ハイビーム）走行

※ 9月21日から3月31日まで、午後4時からの早め点灯を呼びかける。

② 反射材用品、LEDライト等の着用

③ 右（ライト）からの横断者、左からの車に注意

(2) スピードダウンの徹底

スピードの出し過ぎは、運転者の視野を狭くし、危険の発見や緊急時の判断を遅らせるほか、交通事故時の衝撃が大きくなるなど、重大な結果をもたらすことから、制限速度を守るとはもちろん、道路環境や交通状況に応じた安全な走行速度の実践を推進した。

(3) 後部座席を含めた全ての座席のシートベルト・チャイルドシート着用

県内のシートベルト着用率は、運転席・助手席は高いものの、一般道路での後部座席は低い状況にあることから、後部座席を含めた全座席でのシートベルト着用の効果と重要性を周知して着用率を高め、交通安全への意識付けと交通事故発生時の被害軽減を図った。

(4) 飲酒運転の根絶

少しのアルコールでも運転への影響は大きく、また、事故当事者の人生にも多大な影響を与える重大犯罪である飲酒運転の根絶を目指した。

(5) 自転車の安全利用の推進

自転車利用者に「自転車は車両である」ことを自覚させ、左側の通行・整備不良車運転の禁止など交通ルールの遵守と交通マナーの実践、各種保険制度への加入により、安全な自転車利用を推進した。

2 交通安全活動資料の作成・配布

各季交通安全運動を中心に広報資料を作成し、地区交通安全協会及び関係機関・団体等に配布した。

○ 春の全国交通安全運動用ポスター 2,350枚

- 秋の全国交通安全運動用ポスター 2, 350 枚
- 交通安全県民運動用チラシ 45, 000 枚
- 黄色い羽根 50, 000 本

3 交通安全資器材レンタル事業の推進

(1) チャイルドシート等の貸出

自動車乗車中の子供の被害軽減を図るため、チャイルド（ベビー）シートのレンタル事業を実施し、会員等のべ518人（前年度対比+20人 +4%）に675台（前年対比+50台 +8%）を貸し出し、正しい装着の仕方を指導するなど、会員サービスの向上とチャイルドシートの普及促進を図った。

(2) 交通安全教育DVDの貸出

内容の充実した交通安全教育DVDの整備に努めるとともに、団体や事業所・学校にDVD等合計370本（前年度対比+118本 +46.8%）を貸し出すことで、交通安全教育の支援と交通安全意識の高揚を図った。

4 会報の発行

各種交通安全施策をはじめ交通安全協会の活動状況を紹介した機関紙「交通いわて」を、年4回合計28,000部発行して関係機関・団体に配布し、協会の活動についてさらなる理解と支援の促進を図った。

5 各種メディアを活用した広報活動

テレビ岩手、岩手朝日テレビ、岩手めんこいテレビ及びエフエム岩手の協力を得て、県交対協が主唱する「平成29年度正しい交通ルールを守る県民運動」の各季節運動期間を中心として、広報重点につき交通安全協会のロゴ入りの交通安全キャンペーン放送あるいはスポット放送を行うとともに、岩手日報社、読売新聞社等にも交通安全運動キャンペーンを掲載するなど広報活動を推進した。

6 参加・体験型講習会への教育資器材の貸出

各警察署や地区協会が主催するイベント及び交通安全教室に対し、自転車シミュレーター、酒酔い運転体験ゴーグル、視野診断計等の交通安全教育資器材を貸し出すことで、県民の交通安全意識の高揚と協会活動に対する理解の促進を図った。

- 貸出回数 118回（前年度対比+25回 +26.9%）
- 受講者総数 9,304人（前年度対比+3,942人 +73.5%）

第5 会議の開催

1 正・副会長会議及び理事会の開催

(1) 5月18日（木）当協会会議室

第1回正・副会長会議を開催し、定時総会の議題について協議した。また、監事による平成28年度決算に対する監査会も実施された。

(2) 5月25日（木）当協会会議室

第2回正・副会長会議及び第1回理事会を開催し、平成28年度事業報告及び同収支決算書、平成29年度事業計画（案）及び同収支予算書（案）等を審議した。

(3) 6月6日（火） エスポワールいわて

定時総会当日、第3回正・副会長会議が行われ、総会議題の最終打合せを行った。

(4) 11月22日（水） 当協会会議室

第4回正・副会長会議及び第2回理事会を開催し、平成29年度上半期の予算執行状況及び会員の運転免許自主返納者に対する処遇等について審議した。

2 定時総会の開催

6月6日（火）エスポワールいわて

平成28年度事業報告及び同収支決算書の承認、平成29年度事業計画（案）及び同収支予算書（案）並びに欠員となっていた理事の選任等について審議した。

3 事務局長会議の開催

当年3月8日（木）当協会会議室

当面の協会運営上の諸問題を協議した。

第6 会議等への出席

1 東北交通安全協会総会

6月29日（木）山形市内において開催され、当協会から会長及び専務理事が出席して、平成28年度事業報告・同収支決算報告並びに平成29年度事業計画・予算（案）等の審議が行われ、引き続いて表彰式も開催された。

2 東北・北海道交通安全協会専務理事・事務局長会議

9月7日（木）仙台市内において開催され、当協会から専務理事及び事務局長が出席して、当面の協会運営上の諸問題について協議した。

3 （公財）日本交通管理技術協会東北・北海道ブロック会議

10月12日（木）山形市内において開催され、当協会から専務理事と業務主任が出席して、TSマークの普及等について協議した。

4 正しい交通ルールを守る運動県民大会

11月2日（木）盛岡市内において開催され、会長が岩手県交通安全対策協議会会長表彰を授与し、専務理事が高校生交通安全テレビCMコンテストの最終審査及び表彰状の授与を行った。

5 都道府県交通安全協会専務理事会議

当年3月20日（火）東京都内において開催され、当協会から専務理事が出席した。

6 その他

- (1) 地域交通安全活動推進委員全国研修会（6月9日 東京 業務課長、委員）
- (2) 東北交通安全協会職員研修会（11月9日 仙台市 業務課長、経理係長）
- (3) 交通事故相談担当者研修会（11月16・17日 東京 業務主任）
- (4) 東北管区警察交通安全教育コンクール（11月28日 多賀城 専務、業務主任）

第7 交通安全競技会及び講習会の開催

1 第50回交通安全子供自転車岩手県大会（共催：岩手県警察本部 後援：岩手県）

児童に対する交通安全思想の普及、交通ルール及び交通安全の知識・技能を習慣付けさせることを目的として、6月19日（月）岩手県営運動公園内の交通公園において開催した結果、3チーム12人が参加し、成績優秀なチーム及び個人に対して県警察本部長及び当協会長名の賞状、副賞を授与した。

(1) 団体の部

優勝	奥州市立玉里小学校 A チーム
準優勝	奥州市立玉里小学校 B チーム
第3位	一関市立新沼小学校 A チーム

(2) 個人の部

第1位	高橋 一颯（玉里小学校）
-----	--------------

第2位 菊池 舞音 (同)

第3位 松本 遊碧 (同)

また、本チーム以外に7人がオープン参加し、その中で

佐藤 響葵 (玉里小学校)

川端 香織 (同)

伊藤 乃絵 (同)

の3名が賞揚された。

2 第49回二輪車安全運転岩手県大会の開催

(共催：岩手県二輪車普及安全協会 後援：岩手県警察本部)

二輪運転者の安全運転技能の向上と交通安全意識の高揚を図ることを目的として、7月16日(日)自動車運転免許試験場において、二輪車安全運転岩手県大会を開催した結果、男性13人、女性5人が参加し、成績優秀者に対して、県二輪車普及安全協会長及び当協会長連名の賞状及び副賞を授与した。

- 一般Aクラスの部 優勝 鈴木 勝郎 (一関市)
- 一般Bクラスの部 優勝 橋場 長次 (滝沢市)
- 高校生等クラスの部 優勝 菊地 健斗 (奥州市)
- 女性クラスの部 優勝 及川 晴美 (盛岡市)

3 全国大会への出場

(1) 第50回二輪車安全運転全国大会

8月5日(土)から2日間、三重県鈴鹿市の鈴鹿サーキットで開催され、前記県大会の成績優秀者4名が本県代表として出場し健闘した。

(2) 第52回交通安全子供自転車全国大会

8月9日(水)東京都区内で開催され、前記県大会優勝校の奥州市立玉里小学校が本県代表として出場し34位と健闘した。

なお、両大会とも、当協会専務理事及び業務課員が同行して、選手の支援等に従事した。

第8 講習会の開催

1 スーパーシニア・ドライバースクールの開催(共催：日本自動車連盟岩手県支部 後援：岩手県警察本部)

8月26日(土)自動車運転免許試験場において、高齢運転者の交通事故防止を図るため、参加体験型の交通安全講習会「スーパーシニア・ドライバースクール」を開催した。

2 グッドライダーミーティングの開催(共催：岩手県二輪車普及安全協会・岩手県軽自動車協会 後援：岩手県警察本部)

5月14日(日)、7月2日(日)、9月17日(日)の3回にわたり、自動車運転免許試験場において、二輪車利用者の交通安全意識の高揚を図るため、参加体験型の交通安全実技講習会「グッドライダーミーティング」を開催した。

第9 各季の交通安全運動等の推進

- 春の全国交通安全運動 (4月 6日～ 4月15日)
- 交通事故死ゼロを目指す日 (4月10日、 9月30日)
- 自転車の安全利用推進期間 (5月 8日～ 5月17日)

- 夏の交通事故防止県民運動 (8月 1日～ 8月10日)
- 秋の全国交通安全運動 (9月21日～ 9月30日)
- 高齢者の交通事故防止県民運動 (10月17日～10月31日)
- 冬の交通事故防止県民運動 (12月 1日～12月10日)

上記の交通安全運動等の効果的な推進を図るため、関係機関及び団体と連携し、広報資料の配布やラジオのスポット放送、広報車による広報等を重点として推進した。

第10 交通安全功労者等の表彰

1 警察庁長官及び全日本交通安全協会長連名表彰

本年1月19日(金)東京都文京シビックホールにおいて、「第58回交通安全国民運動中央大会」が開催され、会長及び専務理事以下が出席したが、その席上において次のとおり表彰された。

(1) 交通栄誉章「緑十字金章」

- 交通安全功労者 高橋 英正 (北上地区)
- 荒谷 弘 (久慈地区)

(2) 交通栄誉章「緑十字銀章」

- 交通安全功労者 八重樫 俊則 (北岩手地区)
- 真壁 信男 (北上地区)
- 小森 洋子 (一関地区)
- 工藤 恵市 (気仙地区)
- 圃田 喜一 (二戸地区)
- 優良運転者 須藤 義幸 (遠野地区)

2 全日本交通安全協会長表彰

上記「第58回交通安全国民運動中央大会」席上において、次のとおり表彰された。

- 優良地区交通安全協会 江刺地区交通安全協会
- 優良団体 遠野地区交通安全母の会連合会
- 交通安全優良学校 紫波町立水分小学校

3 全日本交通安全協会長交通栄誉章「緑十字銅章」表彰

- 交通安全功労者 30名
- 優良運転者 90名

4 東北管区警察局長・東北交通安全協会長連名表彰

- 交通安全功労者 17名
- 優良運転者 20名
- 優良地区交通安全協会 紫波交通安全協会
- 交通安全優良団体 気仙地区交通安全協会世田米分会
川内運転者会
- 交通安全優良学校 滝沢市立篠木小学校
葛巻町立小屋瀬中学校
遠野市立鱒沢小学校

5 岩手県警察本部長・岩手県交通安全協会長連名表彰(春・秋)

- 交通安全功労者 63名
- 優良運転者 486名
- 優良団体 14団体

第11 交通安全活動推進センター事業の推進

道路交通法第108条の31に基づき、岩手県公安委員会から交通安全活動推進センターとして指定を受け、次の事業等を実施した。

1 地域交通安全活動推進委員連絡協議会に関する事務

連絡協議会の連絡調整、会報の発行を年4回、委員が適切に任務を遂行するためのブロック研修会の開催を年4回実施した。

2 その他の事務

道路の適正な利用に関する広報活動や道路使用許可にかかる道路調査及び交通事故相談業務を適正に推進した。

- 道路使用許可調査 9,953件（前年度対比 -1,426件）
- 交通事故相談 0件（前年度対比 ±0件）

第12 委託業務の推進

1 運転免許にかかる講習事業の実施

(1) 更新時講習の実施

更新時講習は、受講者の年齢層や運転経験が多岐にわたっていることから、身近に発生した交通事故を具体的事例として取り上げるなど、重点を絞った理解しやすい講習を行うように配慮した。

また、特定任意講習については、同一水準の講習ができるよう、適正な会場の選定や地域の交通事情に即した講習内容となるように努めた。

- 優良運転者講習 90,189人（前年度対比 -11,224人）
- 一般運転者講習 26,547人（前年度対比 -812人）
- 違反運転者講習 17,116人（前年度対比 -2,243人）
- 初回運転者講習 10,320人（前年度対比 -55人）
- 特定任意講習 412人（前年度対比 -209人）
- 計 144,584人（前年度対比 -14,543人）

(2) 停止処分者講習の実施

運転適性検査器（CRT）及びシミュレーターなどの資器材の効果的な活用を図ったほか、実車指導能力向上のための研修を行うなど適正な講習の実施に努めた。

また、「飲酒学級」については、酒酔い体験ゴーグルによる体験型講習を実施するなど、飲酒運転防止のための取り組みを強化した。

- 長期 103人（前年度対比 -28人）
- 中期 171人（前年度対比 -41人）
- 短期 895人（前年度対比 -367人）
- 計 1,169人（前年度対比 -436人）

(3) 違反者講習の実施

社会参加活動参加者について、より効果の上がる活動場所や時間帯の選定に配慮したほか、実車希望者については、法令遵守を重点とした指導を行った。

- 社会参加活動 69人（前年度対比 -33人）
- 実車講習 276人（前年度対比 -19人）
- 計 345人（前年度対比 -52人）

(4) 原付技能講習の実施

自動車運転免許試験場、県南及び沿岸運転免許センターにおいて、原付免許の新

規取得者に対して、道路交通の実態に応じた運転実技講習を実施した。

- 自動車運転免許試験場 167人 (前年度対比 - 25人)
- 県南運転免許センター 196人 (前年度対比 - 130人)
- 沿岸運転免許センター 19人 (前年度対比 - 1人)
- (三陸自動車学校コース借用)
- 計 382人 (前年度対比 - 156人)

2 その他の委託業務

(1) 自動車保管場所調査及びデータ入力業務

自動車保管場所現地調査及び同データ入力業務を実施した。

- 現地調査業務 77, 119件 (前年度対比 - 648件)
- データ入力業務 79, 970件 (前年度対比 - 863件)

(2) パーキングチケット管理業務

盛岡市内の時間制限駐車区間に設置されたパーキングチケット発給設備の管理及び手数料の収納及び同区間の適正な駐車確保に関する指導を行った。

(3) 「運転免許更新連絡書」等の発送業務

運転免許の更新者に対して「運転免許更新連絡書」の発送業務を行った。

- 運転免許更新連絡書 183, 149人 (前年度対比 - 17, 954人)
- 高齢者講習受講通知書等 39, 063人 (前年度対比 - 3, 278人)

(4) 住所地以外の公安委員会を経由した免許証代理受領・郵送業務

優良運転者に対して行う住所地以外の公安委員会を経由した免許証の更新申請について、免許証の代理受領・郵送業務を適正に行った。

- 受理件数 111件 (前年度対比 - 20件)

(5) 交通公園指導業務

(公財)岩手県スポーツ振興事業団から委託を受けた交通公園事業について、施設の適正な管理と利用者の安全確保を徹底するとともに、自転車の安全な利用や正しい乗り方についての交通指導を行った。

- 交通安全講習会 48回 (前年度対比 + 3回)
- 受講総人員 2, 131人 (前年度対比 + 208人)
- 一般来場者 38, 209人 (前年度対比 - 4, 159人)

第13 部外団体イベント等への後援・協力

- IBC交通安全キャンペーン (IBC岩手放送)
- 高校生交通安全CMコンテストの審査・表彰 (県交対協・IBC)
- 交通安全キャンペーン
(テレビ岩手、岩手朝日テレビ、エフエム岩手、めんこいテレビ)
- 盛岡市交通安全教室 (盛岡市)
- 岩手県交通安全公共パネル展 (県屋外広告美術業協会)
- 飲酒運転撲滅キャンペーン (岩手朝日テレビ・めんこいテレビ)
- 黄色い手帳運動 (テレビ岩手)
- 紙芝居・絵本贈呈式 (トヨタ六社会)

第14 交通安全事業に対する寄付の受納

- 4月 3日 北上ロード株式会社 100, 000円

○	4月 7日	エフエム岩手	チャイルドシート4台
○	5月12日	岩手朝日テレビ	30,000円
○	9月29日	テレビ岩手	50,000円
○	10月30日	小さな親切運動県本部	反射材2,115個(10万円相当)
○	11月15日	岩手朝日テレビ	30,000円
○	2月 2日	北上ロード株式会社	100,000円

第15 その他

1 岩手県交通安全母の会連合会の事務局業務

岩手県交通安全母の会連合会の事務局を担当し、会長・副会長会議、理事会（6月16日）、通常総会（6月23日）の開催及び交通安全ボランティアブロック研修等を通じて、連合会の円滑かつ適正な業務推進に努めた。

2 交通安全功労者顕彰会の事務局業務

交通安全活動に多大な功労があった交通警察官及び交通指導員を表彰する「岩手県交通安全功労者顕彰会」を、11月1日（水）エスポワールいわてにおいて開催し、本年度の交通安全功労者として選考された警察官1名、交通指導員2名を表彰するなど、顕彰会事務を適切に推進した。

なお、平成30年をもって第20回の節目を迎えることから、総会（9月26日）において、事業の見直しについて協議した結果、交通安全に携わる者の士気高揚を図るためにも、今後も継続実施するとの結論に達した。

3 自転車安全教育指導員講習会の開催

岩手県教育委員会との共催で、自転車の安全教育に従事している交通指導員及び学校教諭で自転車安全教育の指導に携わる78人（前年度対比+20人）に対し、県内6地区（前年度対比+1地区）において自転車の安全な乗り方指導者講習会を開催し、新規51人（前年度対比+21人）の指導員について認定登録を行った。

4 T Sマークの普及活動の推進

自転車の安全利用の推進と自転車事故にかかる被害者の救済を目的として、（公財）日本交通管理技術協会との業務契約に基づき、県警察及び県自転車・二輪車商業協同組合と連携してT Sマークの普及のための各種施策を推進した。

5 県収入証紙の売りさばき事業

自動車運転免許試験場及び盛岡運転免許センター窓口において、各種講習受講者に対する県収入証紙の売りさばきを行い、利用者の利便を図った。